

## 釧路市の学校・教育委員会の請求・支払業務が85%削減！ ～北海道発スタートアップ企業が提供する電子請求システムが道内の自治体業務 DX を実現～

釧路市教育委員会様における請求・支払業務に、弊社が提供する自治体向け電子請求サービス Haratte を採用頂き、昨年(2023年)8月より稼働しております。

このたび、稼働から半年が経過し、サービスの利用状況や効果等の実績が見えてきたことから、市の了承を頂き、事例として公表できる運びとなりましたのでお知らせいたします。

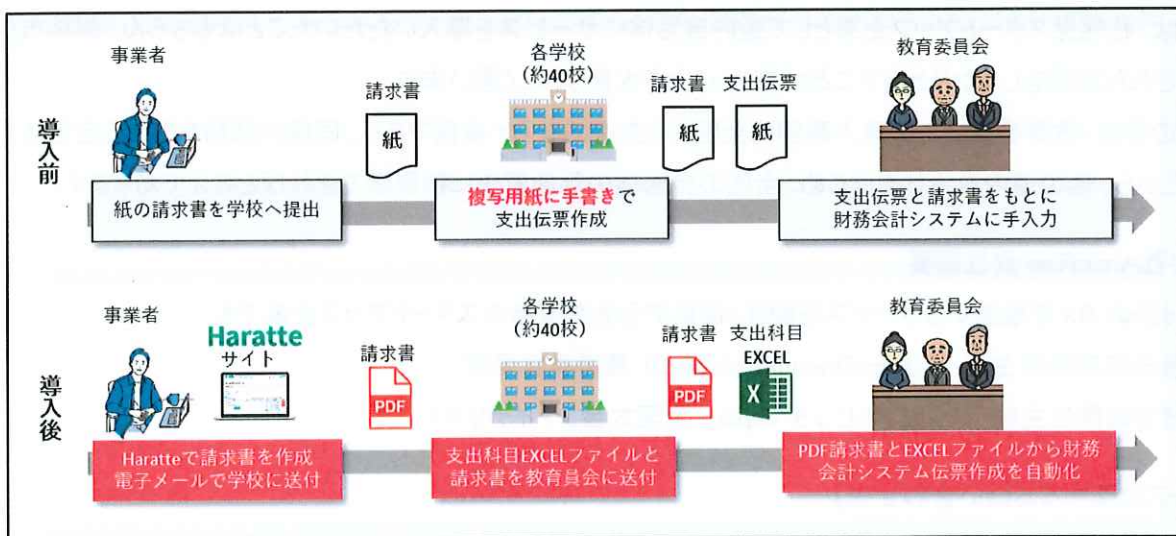
概要は下記のとおりです。詳細は別添「電子請求サービス Haratte 導入・導入後事例」をご参照ください。

### 【背景】

釧路市では請求書を伴った支出は市全体で年間約 9,000 件、そのうち教育委員会・学校での支出が約 6,000 件(約 67%)を占めています。

これらの支出について、導入前は紙で受領した請求書を元に各学校で複写式の支出伝票を手書きで作成、教育委員会が取りまとめて財務会計システムに入力する運用が行われていました。

今回、弊社 Haratte の導入で、請求書が電子化されるとともに、教育委員会は送付された電子の請求書を用いて財務会計システムへの伝票入力を自動化、業務を大幅に削減できました。



## 【利用状況・効果】

・稼働後半年(2024/2 月末時点)までで約 2,000 件の請求書が電子化され、この割合で推移すると年間で送付される請求書の 8 割程度が電子化される見込みとなっています。

・自治体側(学校・教育委員会)は、これまで請求書 1 件の処理に 15 分程度かかっていた時間が Haratte の導入により 2 分以下に短縮されました。

釧路市(教育委員会・情報システム課)様からは、「課題となっていた支出伝票の入力・作成が自動化でき、教育委員会と学校の事務負担が軽減できました。事業者の利用は無料なので利用勧奨もしやすく、事業者の反応も良好です。」とのコメントを頂いております。

### 電子請求を導入してみた



教育委員会でのHaratteによる財務会計システム入力自動化の様子  
(釧路市様ご提供)

請求書の電子化に加え、教育委員会と学校の事務負担軽減が財務会計システム改修なしにできました。事業者の反応も良好です。

課題となっていた支出伝票の入力・作成が、Haratteの導入により既存の財務会計システムを改修することなく自動化でき、教育委員会と学校の事務負担が軽減できました。  
事業者の利用は無料なので利用勧奨もしやすく、事業者の反応も良好です。

※「電子請求サービス Haratte 導入・導入後事例」より抜粋

## ■ 電子請求サービスHaratteについて

自治体の請求・支払業務について、事業者・自治体双方の業務効率化に寄与するサービスです。事業者の費用負担が無いため利用勧奨や普及が図りやすい点、財務会計システムの改修なしに支出伝票の起票自動化や会計課の審査の簡素化が可能な点などが他の電子請求サービスにはない特徴です。

現在、長野県中野市(2023.4～)、兵庫県川西市(2023.6～)、北海道釧路市教育委員会(2023.8～)、愛知県日進市(2024.4～)の4自治体にて導入済で、2024 年度当初にはさらに 2 自治体での導入が予定されています。

## ■ 株式会社AmbiRise代表取締役 田中寛純のコメント

まずは、札幌発スタートアップ企業として道内自治体にサービスを導入いただいたことはもちろん、釧路市様が期待された効果をしっかりとお出すことができたことを大変うれしく思います。

今回の学校・教育委員会での導入事例は全国でも先進的な DX 事例であり、同様の課題を抱える自治体も多いことから、他の道内自治体をはじめ、全国の自治体の課題解決に横展開できればと考えております。

## ■ 株式会社AmbiRise 会社概要

行政分野の DX を推進するサービスを開発・提供する北海道発のスタートアップ企業です。

北海道経済産業局主催 NoMapsDreamPitch(2020) 最優秀賞受賞

日本経済新聞社主催 スタ★アトピッチ Japan 全国大会ファイナリスト

## 【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社 AmbiRise 担当: 田中 E-mail: [contact@ambirise.jp](mailto:contact@ambirise.jp) TEL: 011-558-0691

# 電子請求サービスHaratte

## 導入・導入後事例

効果を感じていただいた方々

★ 釧路市 【教育委員会】 様



Copyright(C) 2024 AmbiRise Inc. All rights reserved.

0

## 導入事例・検証事例（概要版）

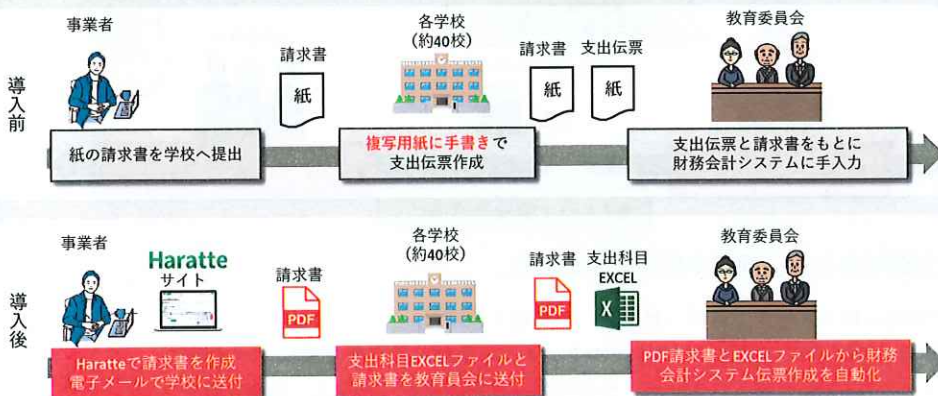


### ★ 釧路市【教育委員会】

釧路市  
人口:157,288人(令和6年1月末現在)

学校の支出伝票作成 5分⇒30秒  
教育委員会のシステム入力 3分⇒50秒

請求書の電子化と業務見直しで、各学校の手書き支出伝票作成業務を廃止し、教育委員会での伝票作成を自動化



導入前は紙で受領した請求書を元に各学校で複写式の支出伝票を手書きで作成、教育委員会が取りまとめて財務会計システムに入力する運用が行われていた。

Haratteの導入後は、各学校は事業者からの請求書を電子(PDF)で受領、支出予算科目を記載した電子ファイルとセットで教育委員会へ送付。

教育委員会は送付された電子ファイルをHaratteに読み込ませて財務会計システムへの伝票入力を自動化。

これにより、各学校の手書き伝票作成の手間と教育委員会での財務会計システム入力負担を削減。

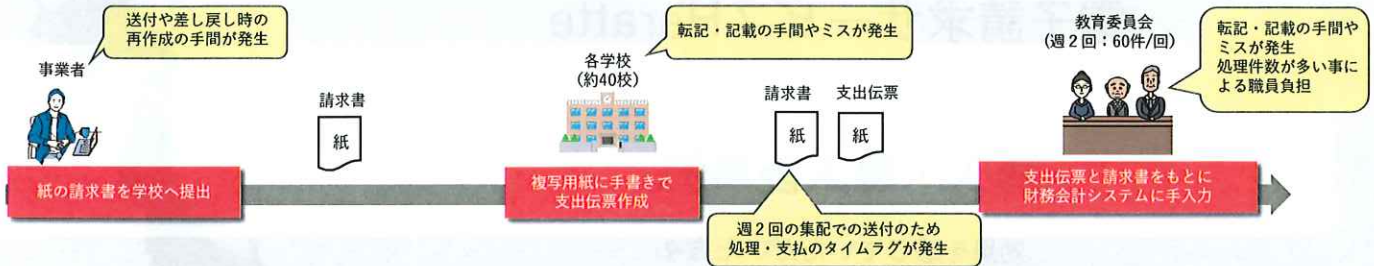
#### 【釧路市教育委員会 柳田様のコメント】

R5年6月末に契約し作業を開始、学校の夏休み期間が開ける8月下旬に本稼働といったスケジュール(2.5か月)で進めました。導入にあたっては、効果や学校事務職員へのシステム利用の負担等も考慮し、現状の学校での支出負担行為作成をそのままシステム化するのではなく、予算執行権限を学校から教育委員会側に移管・集約したうえで、Haratteにより財務会計システム入力までの一連の流れを自動化するという案をAmbiRise社と一緒に検討し一部機能を追加開発頂く形で導入に至りました。

## 導入事例・検証事例（詳細版）

### 電子請求導入前の状況

紙で受領した紙の請求書を元に各学校で複写式の**支出伝票を手書き**で作成し、その伝票を教育委員会が取りまとめて財務会計システムに入力するという運用が行われていました。



以下の要件を満たしつつ、電子請求導入によって事業者・学校・教育委員会の課題解決・負担軽減を図ることとしました。

- ・ 各学校に財務会計システムが利用できる環境がなく、財務会計システムへの入力は教育委員会で行う必要がある。
- ・ 予算残額やどの予算から支出するかは学校で把握・判断する必要があり、教育委員会でも把握している必要がある。
- ・ 学校が複数あり事務職員のITスキルにも差があるためシステム導入が職員負担とならないようにする必要がある。
- ・ 納品確認等があるため請求書の受領は学校を窓口とする必要がある。

## 導入事例・検証事例（詳細版）

### 電子請求導入後

各学校は事業者からの**請求書を電子(PDF)**で受領、**支出予算科目を記載した電子ファイルとセットで教育委員会へ送付**。教育委員会は送付された電子ファイルをHaratteに読み込ませて**財務会計システムへの伝票入力を自動化**しました。



電子請求導入とデジタル化を前提としたBPRを行い、課題を解決できました。

- ・ 事業者は各学校宛の請求書をHaratteで作成し電子メールで送付（見積書・納品書も作成可）。
- ・ 各学校は請求書PDFに予算科目や検収年月日等の情報を記載したエクセルファイルを添付し教育委員会にメール送付。
- ・ 教育委員会は各学校から集まったファイルをHaratteに読み込ませて、負担行為・支出命令を一括作成、財務会計システムへの入力を自動化。

ポイント

学校への予算配当を止め、教育委員会が予算執行権限を持つように変更することで、各学校での負担行為・支出命令を廃止し教育委員会で一括して負担行為・支出命令を(可能)行うこととした。  
システム導入により教育委員会の業務が自動化されたことで、上記の集約を行っても業務が実現可能となった。

普及状況

- Haratteで効率化可能となる請求書を伴った支出は釧路市全体で年間約9,000件、そのうち教育委員会・学校での支出が約6,000件（約67%）を占めている（R2年度支出件数実績より）。
- 2023/9～2024/2末の6カ月間で1947件の請求書がHaratteで作成、ピークの月は月間450件(2024.2)の請求書が発行されており増加傾向。このまま推移すると1年目は年間4,000件～5000件、全支出の6.5割～8割程度となる見込み。
- システム稼働時点で3事業者が参加、その後事業者が増え、現在は10事業者がHaratteを利用して請求を行っている。定期的に取り引のある事業者については教育委員会よりHaratteの利用を案内している。
- 事業者の反応は良好で、「すぐに請求ができ便利。郵送・配達の手間が省けた」との声がある。

業務効率化効果

電子請求導入による業務効率化の効果は下表のとおり。

Haratteによる電子化状況を踏まえると、1年目は年間作業時間が1,272時間（85%）削減の見込み。

		1件あたり作業時間		請求書件数 (支出件数)	年間作業時間 (時間)
		【学校】 支出伝票作成に要する時間	【教育委員会】 財務会計システム入力に要する時間		
導入前		手書伝票作成：300秒	手書伝票審査：420秒 財務会計システム手入力：180秒	6,000件	1,500時間
導入後	Haratte利用 (自動化)分	EXCELファイル作成：30秒	EXCELファイル確認：30秒 Haratte自動入力：50秒	5,000件	153時間
	Haratte未利用 (自動化)分	EXCELファイル、請求書電子化：60秒	EXCELファイル確認：30秒 財務会計システム手入力：180秒	1,000件	75時間
				年間削減時間 (時間)	1,272時間

Copyright(C) 2024 AmbiRise Inc. All rights reserved.

導入事例・検証事例（詳細版）

電子請求を導入してみた



教育委員会でのHaratteによる財務会計システム入力自動化の様子  
(釧路市様ご提供)

請求書の電子化に加え、教育委員会と学校の事務負担軽減が財務会計システム改修なしにできました。事業者の反応も良好です。

課題となっていた支出伝票の入力・作成が、Haratteの導入により既存の財務会計システムを改修することなく自動化でき、教育委員会と学校の事務負担が軽減できました。事業者の利用は無料なので利用勧奨もしやすく、事業者の反応も良好です。

【釧路市教育委員会 教育支援課 柳田様のコメント】

長年の課題となっていた支出伝票の入力・作成が、Haratteの導入により既存の財務会計システムを改修することなく自動化できたこと、また、それにより教育委員会と学校の事務負担が軽減できたことは導入の大きなメリットです。事業者の利用は無料なので利用勧奨もしやすく、利用者拡大にむけて周知を行ったところです。導入前は過去のデータを複製しての伝票作成が定着しており、職員が手作業で処理する方が早いという意見もありましたが、手順や操作についてAmbiRiseさんのフォローもあり、操作に慣れてしまえば少ない工程で処理が完了するため、Haratteを動かしている間に別の作業を行うことができ、業務の効率化につながっていると感じています。また、自動化により請求書記載内容の転記誤りもないため、チェック作業の負担も軽くなりました。

【釧路市 情報システム課 粟田様のコメント】

電子請求導入の検討をはじめから3年、柳田さんをはじめ教育支援課の職員が会計・財政局や小中学校の事務職員と根気強く折衝を続けたことで導入することができ、庁内DXの好事例となりました。システムの導入は目的ではなく業務効率化の手段なので、職員の負担軽減と更なるBPRに繋がることを期待しています。

Copyright(C) 2024 AmbiRise Inc. All rights reserved.